

台湾に地方銀行として初めて拠点を設ける福岡銀行

福岡銀行は、ふくおかフィナンシャルグループの中核銀行として福岡県内を中心に九州全域をカバーしている。近年中小企業による海外進出ニーズが急増しており、その中でも台湾及びベトナムへ関心を持つ企業が多かったことから、台湾駐在員事務所の設立に至っている。台湾にはこれまでメガバンク3行以外の銀行は拠点を置いておらず、福岡銀行が地方銀行として初めて拠点を置くこととなった。今回は、福岡銀行台北駐在員事務所の平山所長を訪ね、拠点設立の経緯や事業内容についてお話を伺った。



福岡銀行台北駐在員事務所 平山孝行所長

一 貴社事業の概要及び進出の経緯について

ふくおかフィナンシャルグループは、グループ3行（福岡銀行、熊本銀行、親和銀行）からなる九州最大の地方銀行グループです。早くからお取引先企業の海外ビジネスを積極的にサポートしており、香港駐在員事務所は開設30周年、上海・大連駐在員事務所は開設20周年を迎えました。現在海外には今回設立された台北を含む7拠点を展開しており、更に2016年はベトナムのホーチミンに駐在員事務所を設立予定です。台北駐在員事務所（以下、台北事務所）は、2015年11月に行政院金融監督委員会から正式に拠点設立の許可をいただき、12月に開設しています。現時点では行員1名、現地スタッフ1名の2名体制で運営しています。

台北事務所設立のきっかけは、お取引先企業からのニーズの高まりです。九州の人口が減少傾向にある中、海外市場展開に活路を見出す企業が年々増加しており、各市場における相談窓口の設置を求める声が高まっていました。当行がお取引先企業約1,500社を対象に、既に進出や貿易取引をしている国及び地域、今後進出や貿易取引を検討したい国及び地域についてアンケートを実施した結果、今後進出を検討したい国および地域について、台湾並びにベトナムに高い関心を示している企業が多いことが分かりました。今まで台湾については、香港駐在員事務所がエリア担当をしてきましたが、香港事務所は台湾以外にも香港・華南エリア・フィリ

ピンについても同時に担当しており、必ずしもお取引先企業へのサポートが十分とはいえない状況でした。設立準備中のベトナムホーチミン駐在員事務所についても、以前はタイのバンコク駐在員事務所が担当していましたが、同様の理由で現地駐在員事務所を個別に設立することになりました。台湾駐在員事務所を通して、台湾進出及び事業拡大を検討しているお取引先企業への支援強化を目指しています。

一 台湾における事業内容について

台北事務所が提供するサービスは、主に2種類です。1つ目は、お取引先企業の台湾進出支援です。具体的には、台湾進出を検討している企業に対しては、現地法人の設立や従業員の雇用、不動産の取得、現地金融機関での口座開設などを支援、専門家の紹介、現地企業の信用調査などを実施しています。また、既に進出している企業に対しては、新たな仕入先や販売先の紹介、現地企業交流会のアレンジ、商談会の開催などを支援していきたいと考えています。更に、企業によってはマーケティング調査についてもリクエストがございますので、簡易調査であれば、投資環境調査、各種制度調査、視察アレンジ及び同行などの支援を行っています。また、本格的なマーケティング調査に関しては、台湾に拠点を持つ専門の調査会社やコンサルティング会社の紹介を行っています。

日本企業から見た台湾

2つ目は、台湾から日本へのインバウンド事業への対応です。近年台湾から日本への観光客が増えており、昨年は延べ368万人の方が日本を訪れました。そこで台北事務所では、日本の地方自治体等と連携をしながら福岡への観光客誘致や経済視察団のアレンジなどにも力を入れていきたいと考えています。また、個人の観光ニーズだけでなく、台湾企業の日本進出についてもニーズが存在するため、それらのサポートについても実施しています。最近では、台湾で高級車ディーラーを展開するYun San Motors（永三汽車）が設立した日本法人「永三MOTORS株式会社」へ運転資金を供与しています。

当社では、今後も台湾企業による対日投資を側面から支援し、地域経済の発展に取り組んでまいります。

—福岡企業における台湾進出が活発な産業

当社のお取引先企業で既に台湾へ進出している企業は80社程ありますが、内非製造業が7割ほどを占めています。また、非製造業が多いため進出場所については、台北が約半数を占めています。近年進出している企業についても、非製造業が多く特に飲食、小売、サービス業の台湾進出が続いています。近年では、中小企業による進出が増加していることも、ひとつの大きな特徴といえるでしょう。

福岡に本社を構える飲食チェーンとして、ロイヤルホストを展開するロイヤルホールディングスは、1991年に台湾の大手電機メーカーである東元電機との合併で台湾進出を果たし、今年で25年目を迎えました。最近では、定食チェーンの「やよい軒」を展開する株式会社プレナス、ラーメンチェーン「一風堂」を展開する株式会社力の源カンパニーなどが続々と台湾に進出しています。

また、製造業に関しては、チャイナプラスワンとして製造拠点を中国から分散することを目的にアジア各国への投資を検討する中で、一定の品質を保った製品の量産力に優れたサプライヤーが多く集積する台湾を検討する企業もい らっしゃいます。台湾は、中国や東南アジアと比べて、賃金の上昇が緩やかで、日本企業の文化を理解したエンジニア

も数多くいるため、日本企業にとって生産拠点としても魅力があります。

—今後の事業展望

日本企業の台湾進出支援については、サポート体制を更に充実させていきます。また、日本側で実際にお取引先企業進出支援の前面に立つ各支店長や実務担当者の定期的な海外視察研修など、台湾市場への理解を深める取り組みを進めています。

金融サービスについては、当社単独では支援が難しいサービスもあるため、現地金融機関とも連携を行いながらサポートしていく予定です。外国送金、外貨両替、海外融資（親子ローン、スタンドバイL/C、クロスボーダーローン）、為替リスクヘッジなどの業務に関しては、当社が日本からサポートし、台湾での銀行取引サポート（口座開設、給与振込等）、貿易代金決済、現地通貨建ての融資等については、現地金融機関との連携を通して、支援をしていきたいと考えています。

今後台湾におきましても、お取引先企業の一番近くでビジネスサポートに努めてまいります。

—ありがとうございました

福岡銀行台北駐在員事務所の基本データ

会社名	日商福岡銀行股份有限公司
設立時間	2015年12月
所長	平山孝行
所在地	台北市中山區松江路126号 6F-1
事業内容	①お取引先の海外事業展開のサポート ②台湾における金融経済・産業情報の収集 ③現地金融機関等との関係強化支援

注)2016年2月時点のデータによる
出所)公開資料及びヒアリングよりNRI整理